



自然環境デザインスタジオ

～小川町と水～

馬場雄大 小林拓斗 藤田学

2023.1.21(sat.)

はじめて訪れた小川町の印象 (10/16/2022)

1



小川には川以外にもたくさん水に関わる空間が存在している！

川



水路



井戸



2

湧き水



目的：水と関わる小川町の生活景を描き出す

3

① 現地調査

水に関わる「生活景」
要素の収集
・川沿いの景色
・川辺での人々の活動
・水路の流れ

② 水の可視化

生活との関係

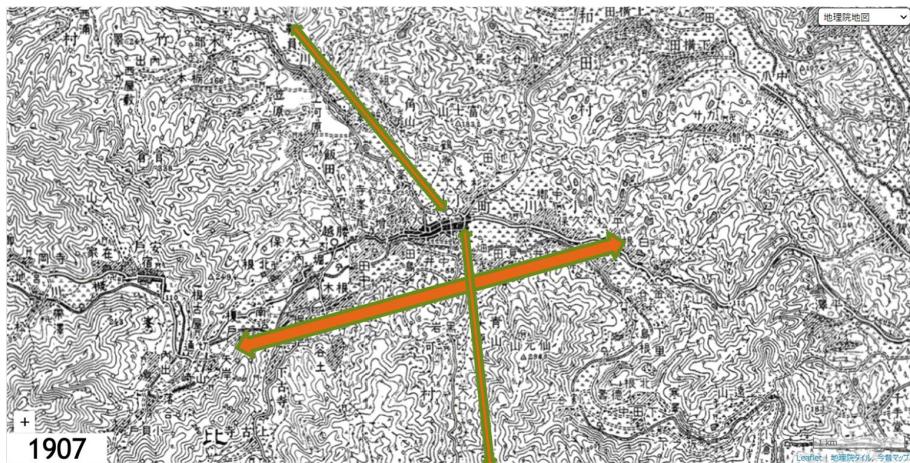
生活景

景観

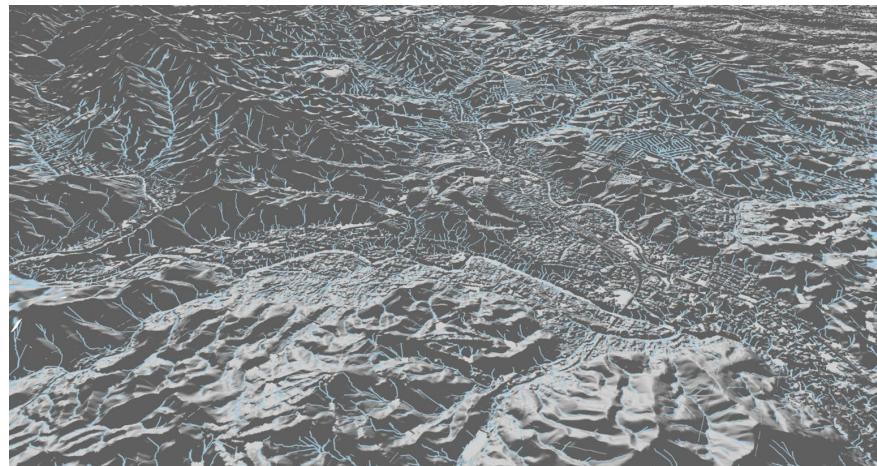
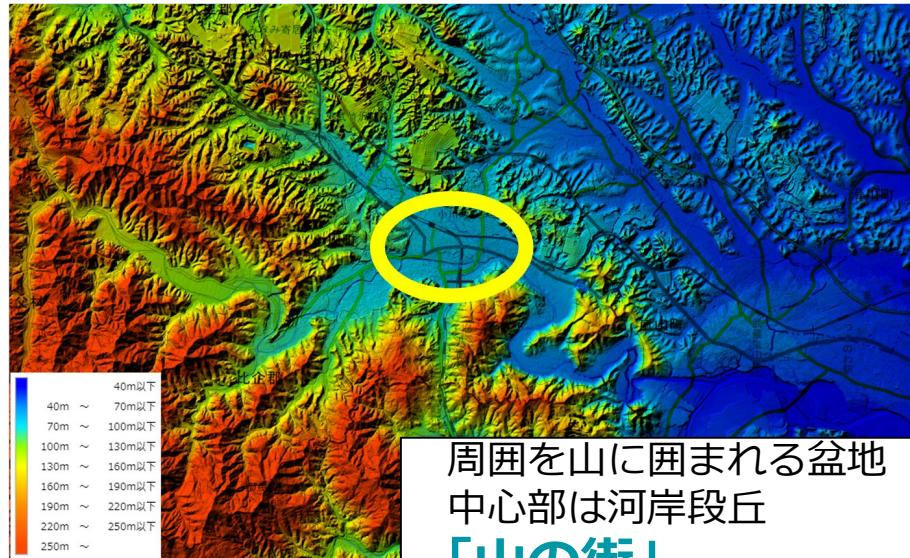
小川町の生活が、多様な水によって作り出されているのではないか？

現地調査前の事前準備：地図から水を読み解く

4



東西：秩父へ向かう道（秩父往還）
南北：旧鎌倉街道
「交通の要衝」



地形のデータから
川（水）の流れ
を分析

①現地調査

5

自転車または徒歩で、槻川および兜川の流域を、上流から下流まで調査
(実施日一覧：2022年10月16日、23日、11月6日、19～20日、12月11日)



1回目



2回目



3回目



4回目（1泊2日）



5回目

調査の焦点 ①川との人の関わり、痕跡

6

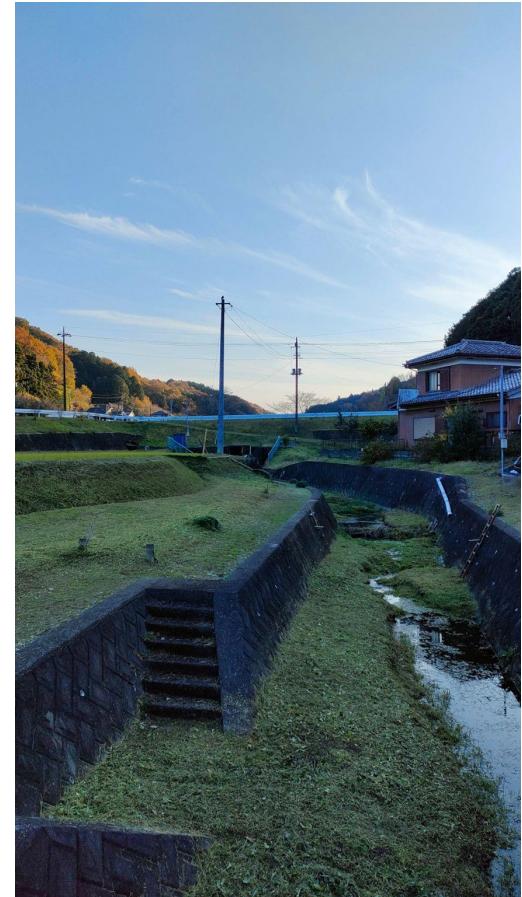
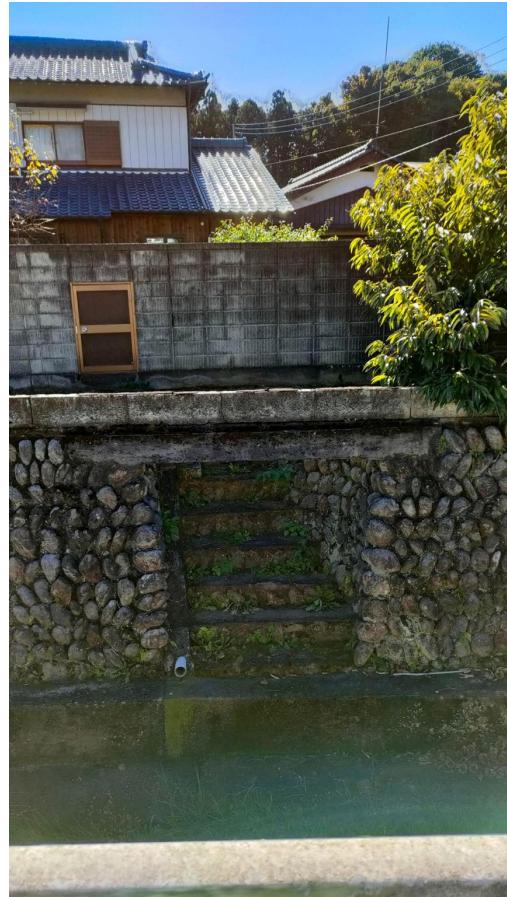
水と人の関わり、川を「またぐ」

飛び石で川をまたいだり、
簡易的な橋が掛けられたり。
人だけではなく、生活用水も川をまたぐ。



調査の焦点 ②川への人の介入

7



水へ関わる住民の工夫

水路への階段、草、木、石で水のまわりの空間は作られる

調査の焦点 ②川への人の介入

8

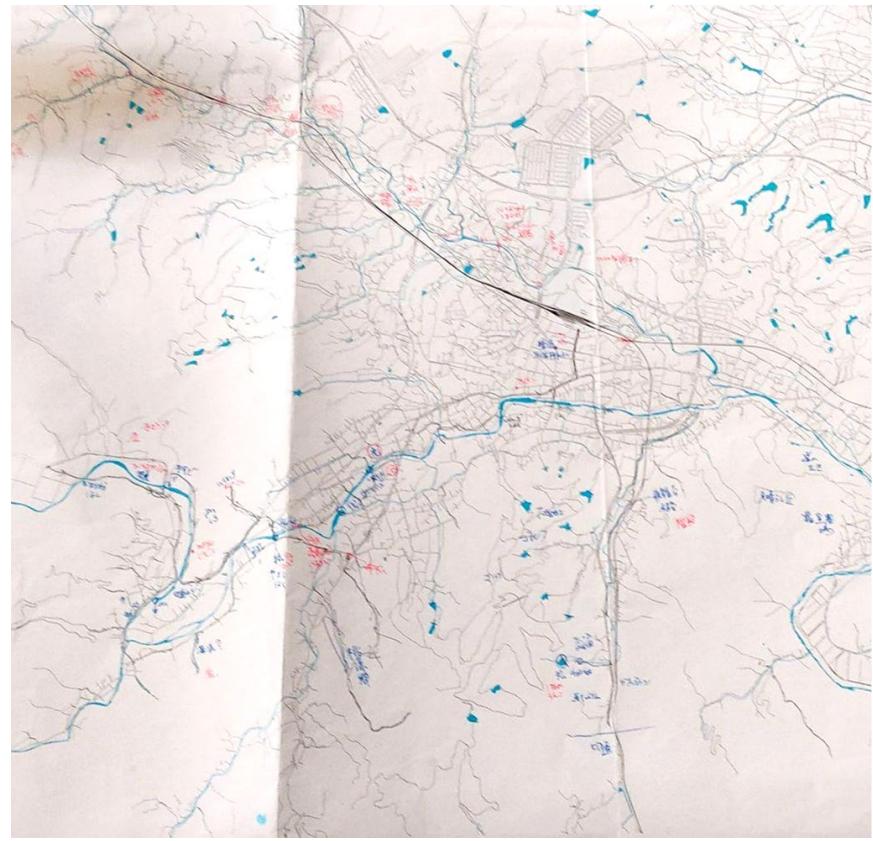
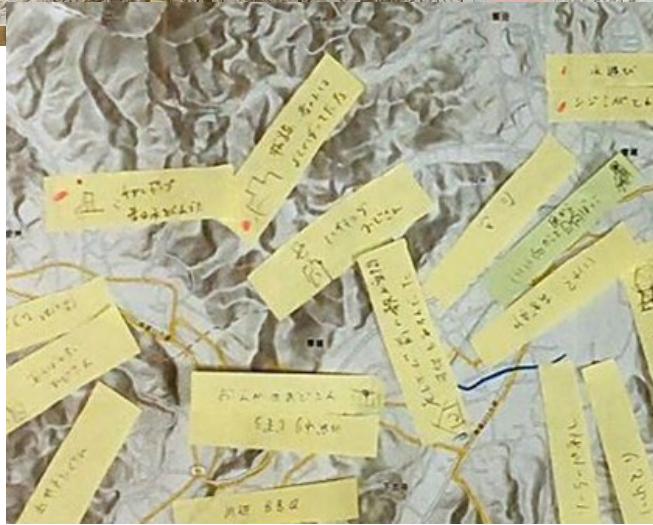
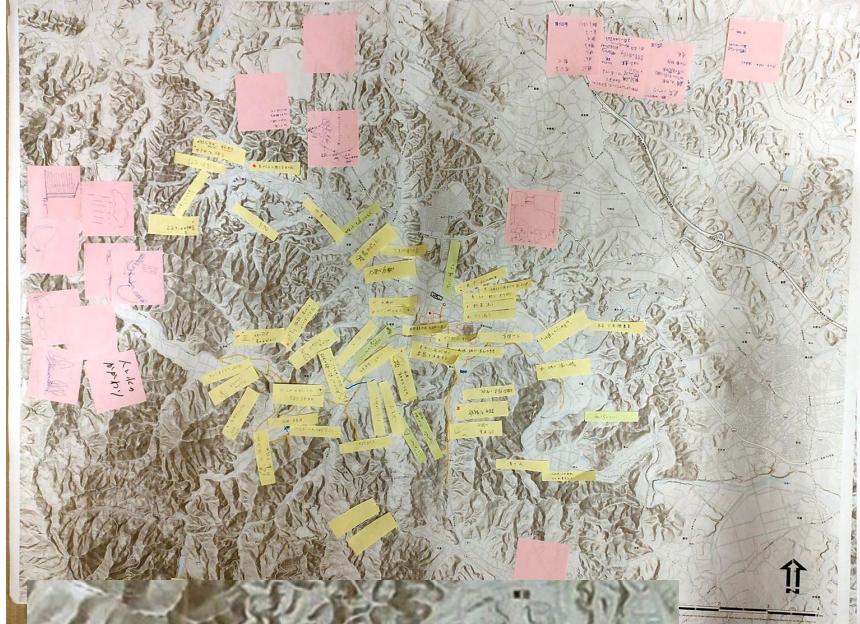


水との関わりの「痕跡」

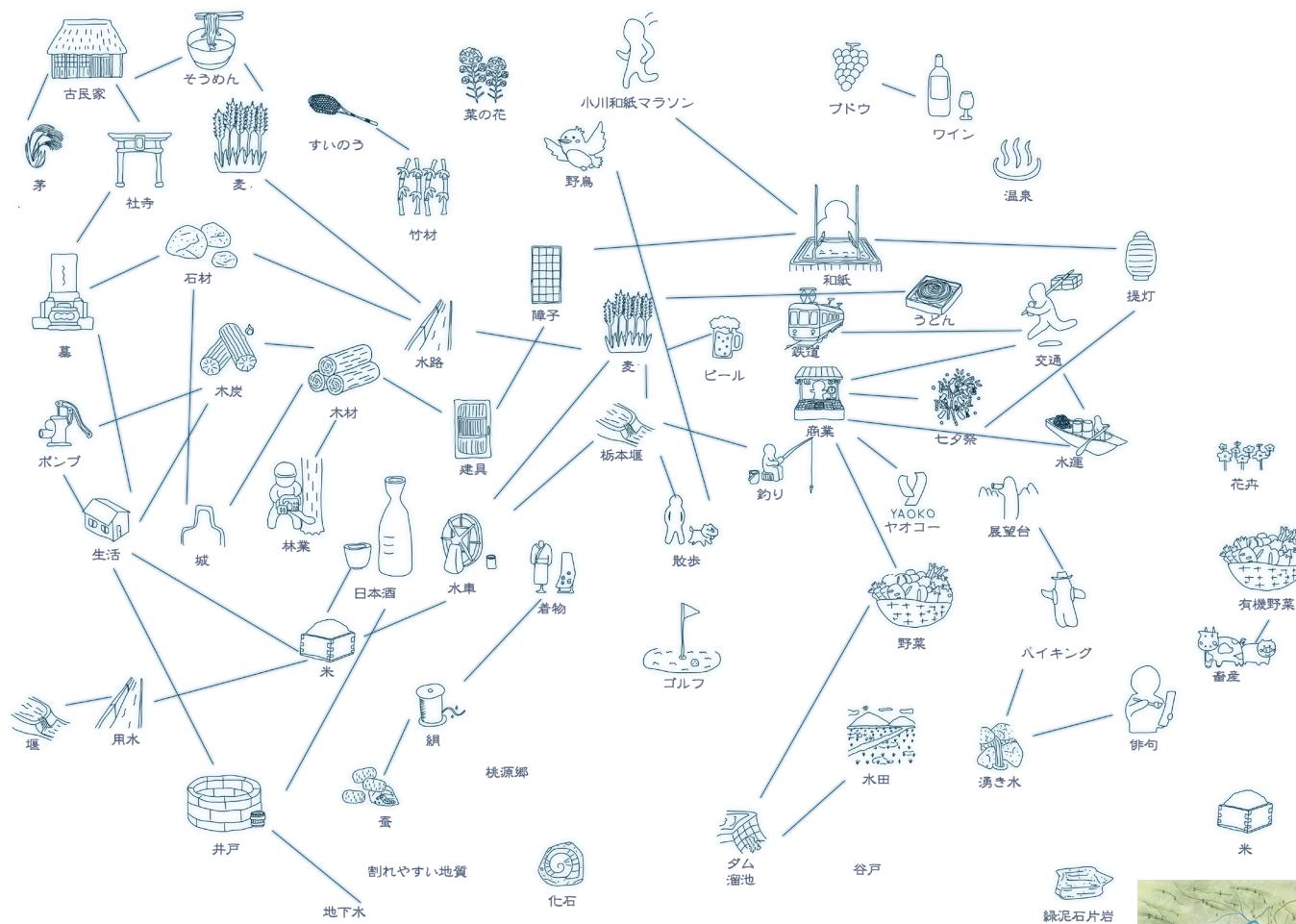
いくつかの痕跡は、水という自然に対してこれまで人がどう関わってきたかを示している
過去の生活が垣間見える

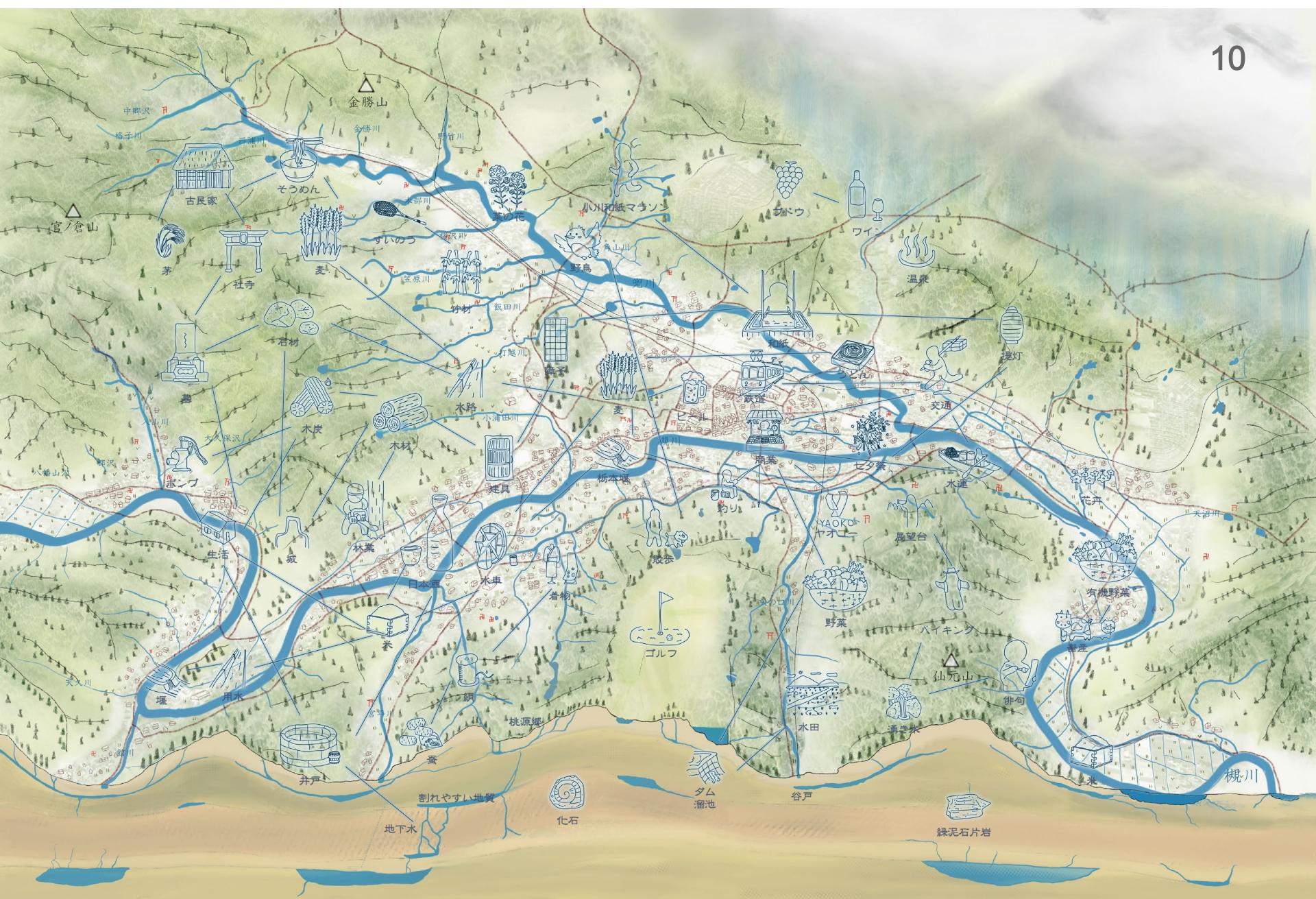
②可視化

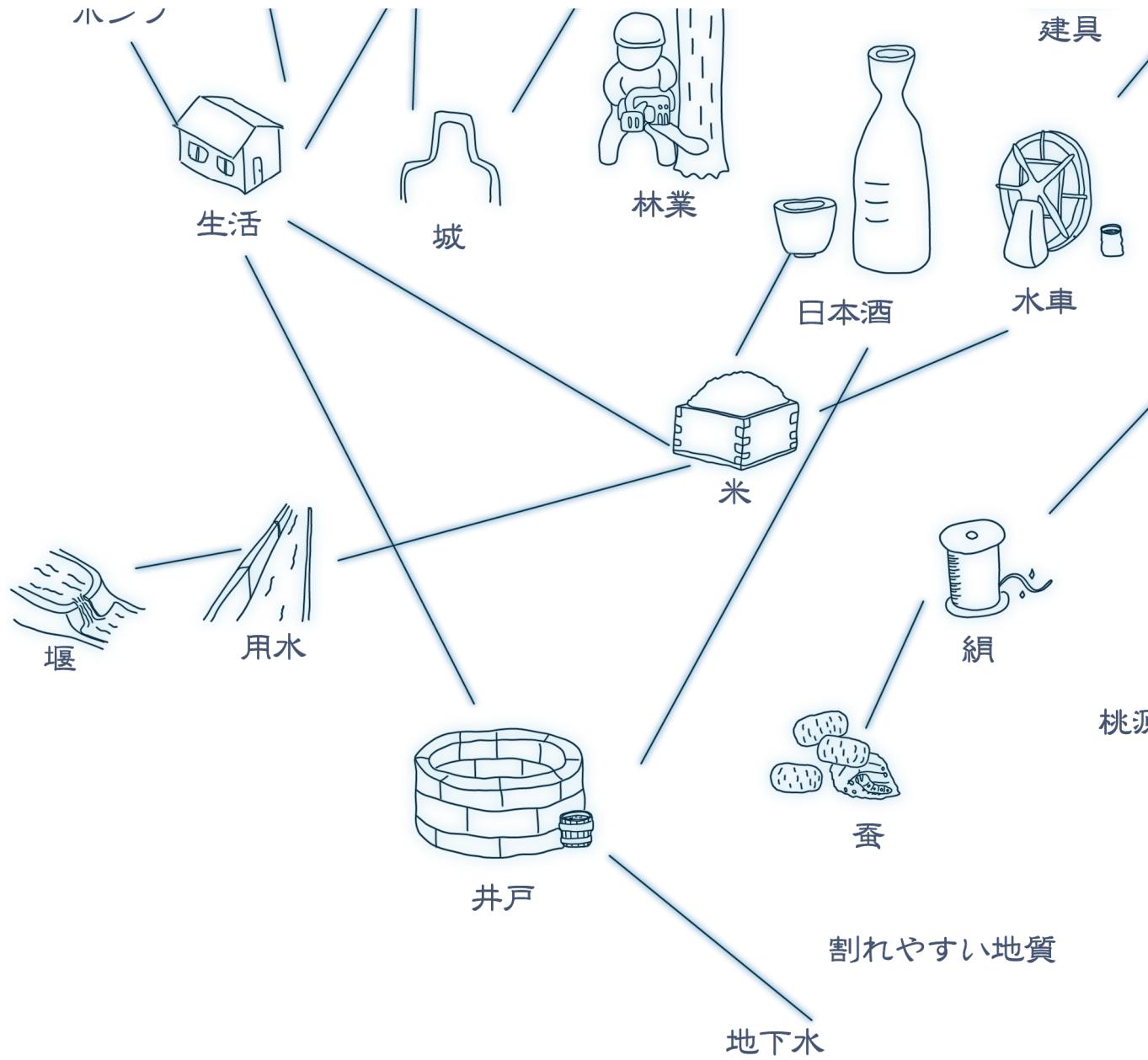
9



地図上に調査で見つけた人の営みをマッピング
そこから、小川町の特徴や自らの気づきを整理

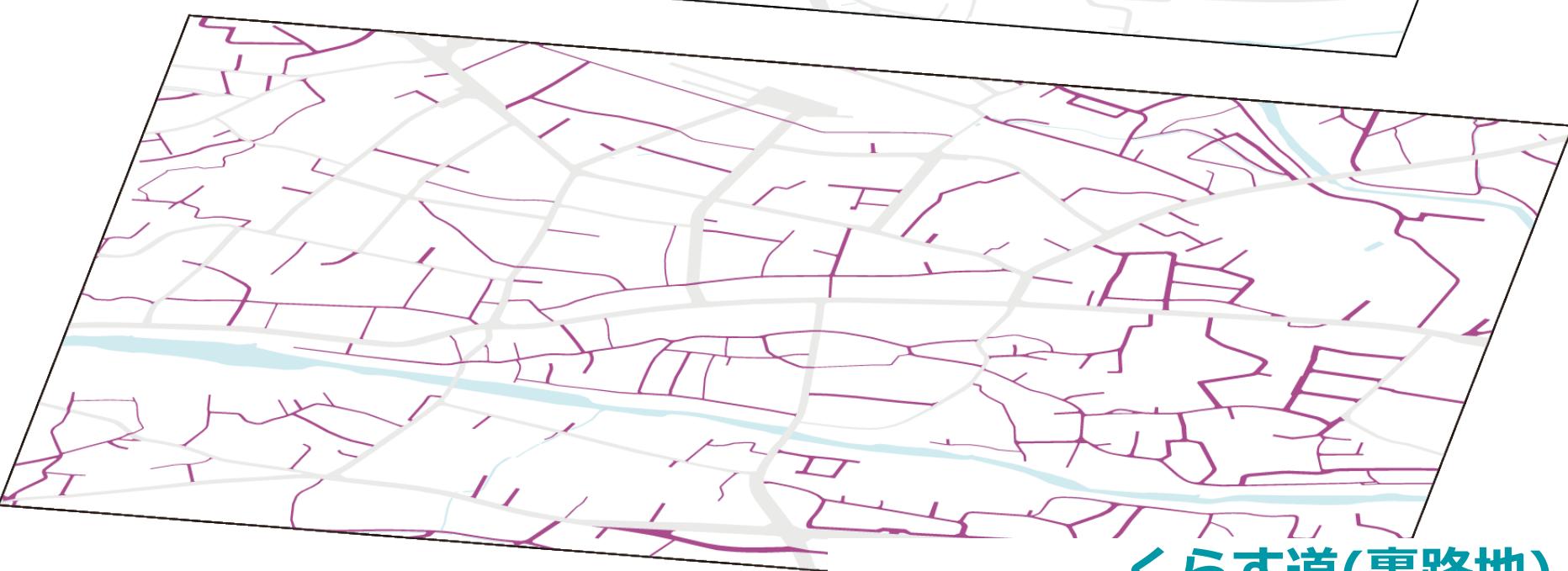






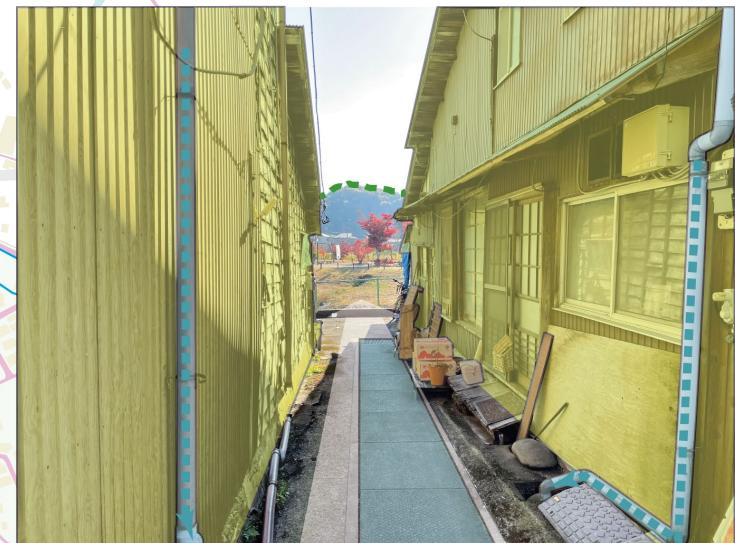
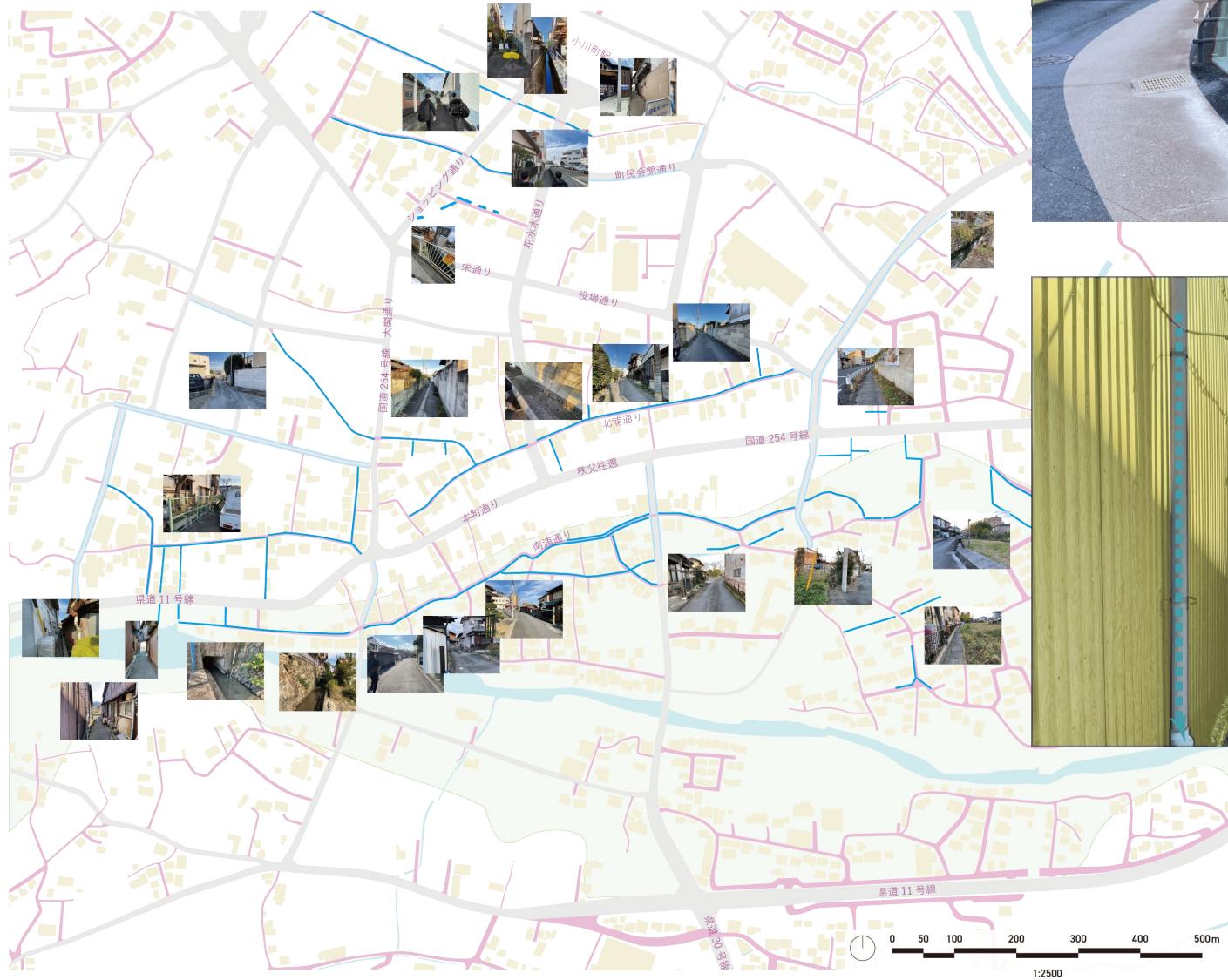


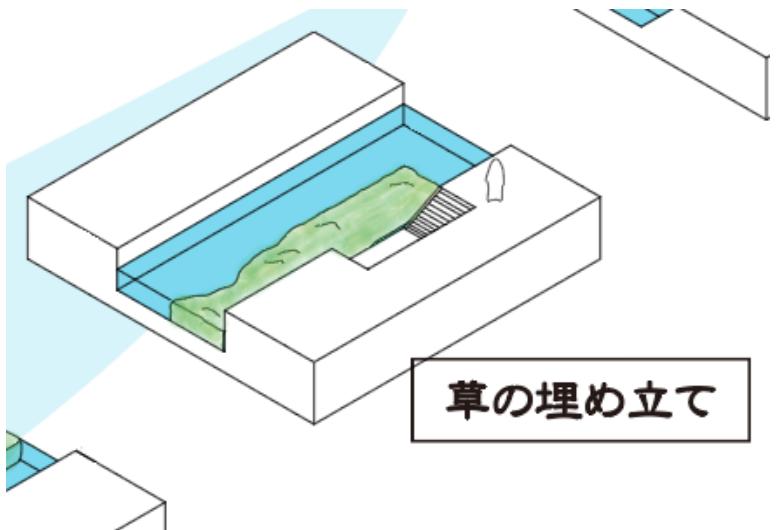
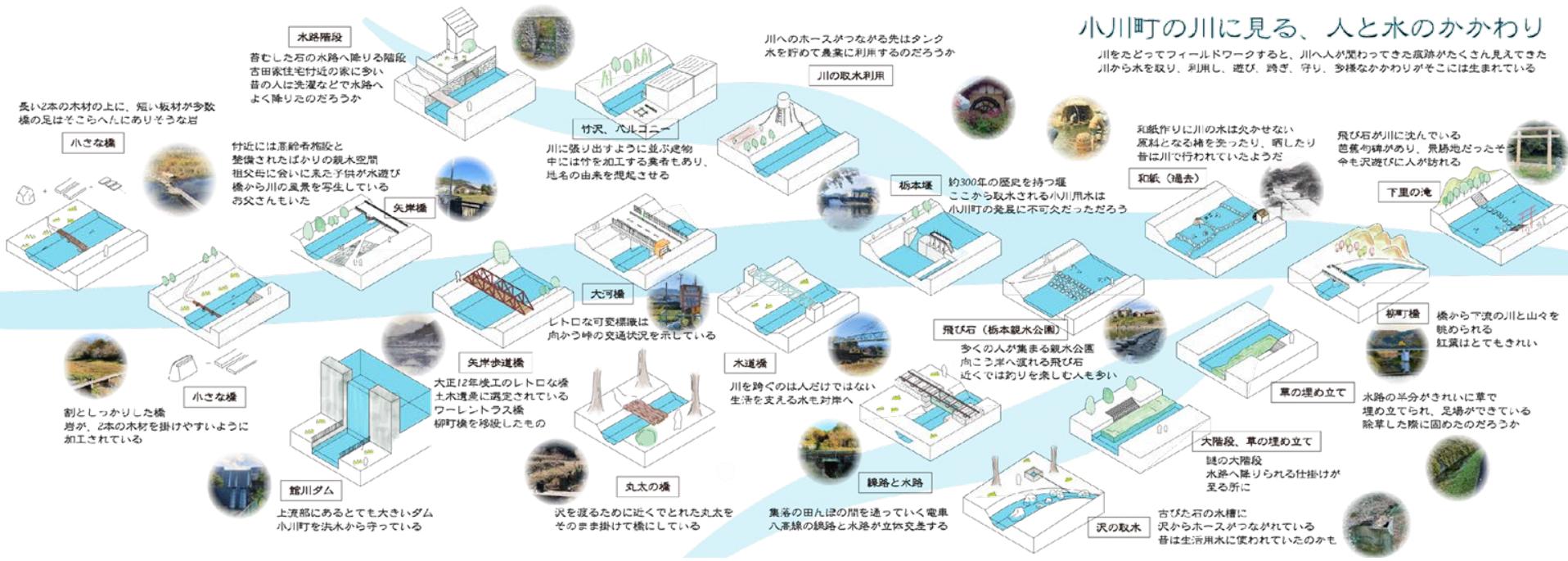
張り巡らされた水路



くらす道(裏路地)

水路とともに作り出された小川の生活景

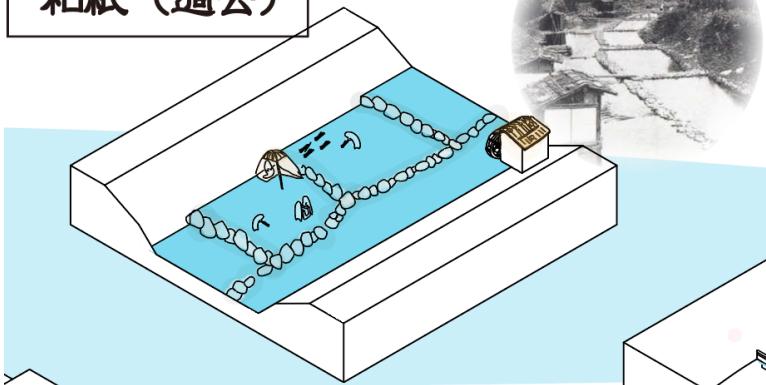




水路の半分がきれいに草で埋め立てられ、足場ができる
除草した際に固めたのだろうか

和紙作りに川の水は欠かせない
原料となる楮を洗ったり、晒したり
昔は川で行われていたようだ

和紙（過去）





水とつながる生活の痕跡
それがふとしたところに見えるのが
小川町の魅力なのではないか



多様な水を起点としたまちづくりの提案

16

水路：
回遊性の高い裏路地
+ 気軽に散策しやすい空間



小川町：
水路が張り巡らされたまち
…だが、眠ったまま？



提案：
水路を活かした場づくり
の可能性

ワークショップについて

Water flowing through
the life in Ogawa town



小川町の暮らしの中を
流れる水



小川町の水と関わる暮らしの様子を並べる
その経験や思い出を伺いたいと思っています